

# 環境 Environment

島の宝を後世へ  
Island Treasures for Future Generations



マングローブ干潟で、生物の観察会

To hand down Amami's ecosystem and biodiversity, the City is raising civilian awareness of preventing introduction of foreign species, patrols to protect rare species, protection of sea turtles and the coral reef as well as proper garbage disposal.



世界でも有数な自然環境と希少野生動植物を有する奄美群島。何千万年もの間に形成されてきた生態系や生物の多様性は、我々の誇りであり後世へ受け継いでいくべき島の宝でもあります。

この宝を守り継いでいくため、奄美古来の固有種を脅かす様々な外来種対策を軸に、希少種保護のパトロール、ウミガメやサンゴ礁の保全など市民の意識啓発を図りながら努めてまいります。併せて、ゴミ対策などの環境対策にも官民一体となった取り組みを実施してまいります。

貴重な奄美の動植物を保護する取り組みが進んでいる。



盗掘やゴミの投げ捨てなどをパトロールして監視する他、希少種の保護活動を行っている。



猫ワナの設置



迷子になっても  
飼い主がわかるよう、  
「マイクロチップ」の挿入が  
求められている。



草木を根こそぎ食べるノヤギの駆除が、猟友会の協力で行われている。

# Information

離島の不利性を克服し、  
雇用・仕事機会の拡大へ

Remedying Remote Island Informational Disadvantages /  
Expanding Employment and Work Opportunity



奄美市は「フリーランスが最も働きやすい島」を目指し、支援を開始。人材育成セミナーや、任意団体「奄美フリーランス協会」も発足した。

Utilizing mobile communications and diversified and advanced means of communication, Amami City implements human resource development projects and to promote growth of local business as well as create a welcoming environment for new business and work to locate here. The aim is to promote information and communications industries and expand employment and job opportunities.

奄美市では、「奄美市総合計画」や「奄美市地域情報化計画」のもと、「企業・仕事誘致」、「既存産業の振興」、「人材の育成・確保」、「情報通信環境整備」、「電子自治体の構築」を柱に、島嶼地域の不利性を克服する産業として期待されている情報通信産業の振興を推進しています。近年、著しい進展を見せている携帯電話などのモバイル通信や超高速通信回線など、多様化・高度化する情報通信手段を効果的に活用し、継続的な人材育成事業や地元企業の育成及び企業・仕事誘致にむけた環境の整備を図ることにより、情報通信産業の振興、雇用・仕事機会の拡大を目指していきます。



情報通信関連企業や技術者の拠点施設として開設された奄美市ICTプラザさきり



プログラマー養成の専門学校（奄美情報処理専門学校）で卒業制作に励む学生たち。同校は、IT関連、システム開発会社へ、就職率100%の実績を毎年、維持しているという。



平成22年に奄美内のIT関係会社9社が発起し、「奄美情報通信協同組合」を設立。平成27年度18社加盟。代表理事は、専門学校校長でもある福山洋志氏。



月一回の定例会には、入居企業が会合。それぞれの活動内容や問題点等話し合う。

産業創出プロデューサーの勝 眞一郎氏。サイバー大学のIT総合学部教授であり、奄美フリーランス協会の会長も兼任する。

